

## 第4回第2期夕張市総合戦略検証委員会の結果等について

夕張市総合戦略検証委員会

### 1 日時及び場所

令和6年10月18日（金）15：00～16：00 夕張市役所5階委員会室

### 2 検証結果

第2期夕張市総合戦略（以下、「総合戦略」という。）登載事業の進捗状況、課題等について取りまとめた資料を元に、検証委員会において確認した。

令和5年度は第2期総合戦略の4年目ということもあり、成果は一定程度上がっているが、取組内容の見直しが必要な事業もでてきている。

総合計画策定に伴う、第2期総合戦略の2年延長する方針について、検証委員会としても異論はなく、今後も、次の総合戦略および総合計画に繋げるため、取組内容の見直しを適宜行いながら進め、当検証委員会でも、意見交換を行っていききたい。

### 3 質疑等内容

（戦略1：誰もが安心して暮らせる環境づくり）

委員発言：市の事業の中で、未婚の人たちのための出会いの場のようなものを、民間と協力し合いながらでも創出してはいかがだろうか。

市応答（総務企画課）：市としても、そのような環境を整え、夕張市を活性化させることは大事であると認識をしている。しかしながら、夕張市の現状、そして、今の若者世代の娯楽傾向を踏まえると、市が（出会いの場創出のための）お店を作るような支援等を行う事業は現実的ではないと考えている。ただし、スポーツイベントなどソフト面での政策や事業は出会う機会の創出にも貢献できるものと思うので検討していきたい。

委員発言：最近の労働力不足解消のため、外国人を雇っている。その中で住居を探すことが難しくサポートしてもらいたいと考える。

市応答（建設課）：市営住宅については、夕張市内に住民票を置いてもらうことで外国人でも入居は可能であるため、ご相談いただきたい。

（戦略2-②：産業遺産ツーリズム拠点としての「石炭博物館」「清水沢エコミュージウムプロジェクト」）

委員発言：歴史村の模擬坑道の再開めどを教えてください。

市応答（教育課）：現在は復旧工事を行っており、工事完了は来年2月予定としている。工事が完了するまでは明確な時期をお伝えできないが、予定どおり、工事は順調に進めば、来年度にオープンできる予定である。

(戦略2-④：道の駅の魅力向上)

委員発言：道の駅における24時間トイレの設置の進捗状況を教えてほしい。

市応答（地域振興課）：震災で壊れたトイレの撤去までは完了しているが、設置においては、夕張市単独での対応が困難であり、国の協力も仰ぎながら対応していきたい。

(戦略3-②：日本一の薬木生産地に向けた基盤整備)

委員発言：平成27年度から漢方薬として利用が見込まれている樹木を植林してきていると思うが、育成状況を含めて今後の方向性について教えてほしい。

市応答（地域振興課）：詳細な状況までは把握できていないが、生育状況は良いとは言えない状況であり、今後は詳細を確認し、専門家の意見等も伺いながら方向性を検討したい。

委員発言：生育状況が良くないというところだが、その原因分析や対策も合わせて考えているか教えてほしい。

市応答（地域振興課）：実態として、雪害に耐え切れず折れてしまった事案もあったことから、植林場所や人員体制、そして手入れのことを勘案した場合の育成規模の適正化など、これまでの結果や現状から検証しながら、対策を進めていきたい。

委員発言：夕張にはツムラという漢方薬を取り扱う会社があるので、一緒に発展していけるような状況を作っていってほしい。

(戦略4-②：小中学生の可能性を伸ばすプロジェクトの創出)

(戦略4-③：高校魅力化プロジェクトの推進)

委員発言：小中学校の現状として、全校生徒数や進学予定者数が分かれば教えてほしい。また、夕張高校について、生徒数や市外からの受入状況について教えてほしい。

市応答（教育課）：資料がないため概数になるが、令和5年度の数値として、中学校が約100名、小学校が約150名、うち6年生は20数名である。

市応答（地域振興課）：夕張高校は、現在の2年生と3年生が各20名に満たない生徒数ではあるが、令和5年度の取り組みの結果、今年4月は市外から3名の入学者を含めて26名が入学している。夕張市内の進学者に限ると、中学校卒業生が35名に対しての23名であることから約66%の地元進学率である。なお、現在は今年度中に市外から1名の転校による入学があったため、1年生が27名に増えている。

委員発言：夕張市の子どもたちが、より自分の住むふるさとに愛着を持ってもらうような取組例があれば教えてほしい。

市応答（地域振興課）：夕張高校魅力化プロジェクトにおいては、総合的な探究の授業において、メロン輸送に係る保存時間の延長や地元特産品を活用した商品開発など、夕張ならではの課題をテーマにして、解決策を提案するといった取り組みを行っている。

(戦略5-②：持続可能な交通体系の維持)

委員発言：夕張と札幌をつなぐ交通手段での手当等はあるのか教えてほしい。  
市応答（地域振興課）：JRの取組において、夕張市民に限り、新夕張から札幌への特急使用時は普通料金で利用できるというものはあるが、夕張市の事業として行っている手当等は無い。

(戦略5-①：コンパクトシティの推進)

(戦略5-③：地域コミュニティの維持)

委員発言：コンパクトシティを進めるための住居移転が進まない原因の一つとして、それぞれの住民が元々持っていたコミュニティを解散したり、離れたりしなければならぬことがあるのではないかと思う。財政上簡単ではないと思うが、今後進める中で、このような原因も勘案してほしい。

(戦略5-①：コンパクトシティの推進)

委員発言：コンパクトシティの事業において、住宅新設の補助のようなものがあったと記憶しているが、その場合の補助を教えてください。  
市応答（建設課）：新築住宅取得補助というもので、社光から平和、清水沢、沼ノ沢、紅葉山の各地区に限定しているが、収入制限はなく受けられるものがある。該当確認を含めて、ご相談いただければと思う。

(第2期総合戦略の期間延長について)

事務局発言：当総合戦略は第1期が平成27年度から令和元年度、現第2期が令和2年度から令和6年度とこれまでは5年単位で計画を作っているところ。一方で、夕張市が償還すべき借金（再生振替特例債）が令和8年度で償還完了予定になることを鑑み、現在、市の最上位計画である財政再生計画に代わる最上位計画として、総合計画を策定したいと考えている。

総合計画は令和9年度から開始したいと考えており、総合計画とつながりのある総合戦略も開始時期を合わせて令和9年度開始とすべく、その間の令和7年度と令和8年度は第2期総合戦略の延長を考えている。

委員発言：異論なし。

(終わりに)

委員発言：以上ですべての項目を確認した。今回の委員会での意見等を踏まえ、引き続き、取組んでいただきたい。今後も、次期総合戦略にもつながるような意見交換を続けていきたい。

以上。